

特定非営利活動法人 ala クルーズ 平成 25 年度 通常総会



特定非営利活動法人alaクルーズの平成25年度通常総会が、5月25日(土)午前11時よりワークショップルーム(洋室)にて開催されました。初めに澤野理事長が「可児市文化創造センターalaが、文化庁特別支援施設に選定され、平成25年から5年間補助金を頂けるようになった。中部地区では初めてのことでalaの今日までの活動の成果が結びついたことをお慶び申し上げ、我々も側面から応援していきたい」と挨拶されました。続いて総会定足数の報告があり、正会員数55名のうち出席数

23名、委任状25名、合計48名で定款27条の規定により今総会が成立したことが宣せられ、議長に寺松氏が指名され議事に入りました。第1号議案の平成24年度事業報告が久米副理事長よりまた、収支決算報告が会計の篠田理事よりなされ、監



事の高相氏より当事業報告書並びに収支計算書の内容が適正かつ正確であった旨の監査報告がなされました。つづいて第2号議案の平成25年度事業計画(案)並びに事業予算(案)が報告され、両議案とも全会一致の拍手をもって承認されました。総会には来賓として佐橋財団理事長、桜井事務局長、遠藤課長、坂崎氏、坂田氏にご臨席頂きました。副市長でもある佐橋理事長は「初めて総会に参加させて頂き、皆さんの活動を再認識した。手作りタイル事業に参加して、2歳になる孫の手・足形を残せて個人としても良い思い出ができた。可児市も高齢化・人口減少が進む中で高齢者や子育て世代が安心できる

まちづくり・工業団地など地域経済の活性化・町の安全等4つの目標を掲げて地域と共に魅力的なまちづくりを目指している。中でも“alamachi元気プロジェクト”等alaの存在は非常に大きい。alaへの補助金に関して、全国で15の施設に限定という難関にも関わらず、人口10万都市で受けることができたのは、衛館長と市民の努力、そしてalaクルーズの皆さんの縁の下の力持ちのお陰だと感謝している」と挨拶されました。つづいて桜井事務局長も「全国2,200の文化施設の中で15の中に入れたのは市民が運営に携わっていることが認められたのではないかと思います」と感謝の意を伝えられました。総会はつつがなく終了し、創造スタッフ室に場所を移し、遠藤課長の乾杯の音頭で思いおもいの交流を楽しみました。



ala クルーズギャラリー展示

心にひびくものたち XⅢ “土器”

紀元前4500年前頃からの日本、中国、エジプト、アフリカ、パキスタン等、各国の土器が時を越えて、ギャラリーに整然と並んでいました。直径が70cm程もある大皿や、トゲのようなものをくっつけたまん丸い壺や、取っ手のついた器、お茶碗のような形のもの、厚いものや薄いもの等。担当者の解説によると「この時代は本格的な窯というものはまだなく、野焼きが少し進んだくらいだったでしょう」ということでしたが、中国の大皿は水の流れが大胆に描かれていて、土器作成の水準の高さを知ることができました。日本の縄文式土器や弥生式土器も展示されていて、中学生時代の歴史の教科書に載っていたのを思い出しました。その頃の日本は野焼きだったにもかかわらず、食物保存の土器は大きく装飾もついていて、特別な作陶者がいたのだと感じました。海外の大きな器には薄く赤い色が残っているものがあり「たぶん、一集落に一枚しかなく、神事に使われていたものでしょう」との説明でした。名古屋から来場された方は、「綺麗なものの形のいいものだけでなく、その時代の人々が作って食器として使い、手に触れ口に触れて…という日常の生活が浮かんでくる土器がいいですね。温かみを感じます」と話してくれました。今回、中央に土器の破片が100余り並べてありました。「何千年も前に作られ使い込まれた土器を手にとって、遠い昔の生活に思いを馳せる時間が持てました」と来場者のある方は感激されていました。目だけではなく、肌で感じて欲しいというスタッフの狙いが通じたのです。今回593人の来場者があり、素朴な土器と向き合い、それぞれの思いを胸に秘めたことでしょう。



主な出品物

日本の土器

- ・縄文前期の東北地方出土のものから
- ・縄文中期、後期、晩期の東北・関東地方出土のものを主にしています。
- ・弥生式土器、土師器—関東や近畿地方、東海地方の出土品
- ・奈良、平安、室町時代の碗・皿・壺。

外国の土器

- ・中国—紀元前4000年頃からの彩文土器をはじめ、壺、鉢、皿の様々な土器
- ・タイ—バンチェン出土の黒陶や彩文土器
- ・朝鮮—日本の弥生式土器につながる土器
- ・エジプト—紀元前4000年頃の黒頭土器
- ・ヨルダン、シリア出土の壺、鉢、
- ・イラン—イスマイラバード出土の紀元前4500年頃の鉢、等
- ・アフリカ—マリ、ブルキナファソ等の古い土器、現代の土器
- ・アメリカ—先住民族の壺、鉢



水野政雄の世界

紙コップの夢... サバンナアート展

これまでに《森の生木者たちアート展》《生きもの夢工房》《さんしょうおと川の仲間たち》の作品展示を開催しご好評をいただきました。今回は、身近な紙コップを使い、独自の発想とアイデアで、サバンナの動物たちをユニークに創作し、会場いっぱい広がるシオラマの世界は迫力満点です。ぜひ、この機会に『水野ワールド』に触れ、夏休みのひと時をお楽しみください。

日時：平成25年8月17日(土)～25日(日)
午前9：30～午後5：00 (入場無料)
会場：可児市文化創造センター 美術ロフト

主催：NPO法人alaクルーズ
協力：(公財)可児市文化芸術振興財団
：遊童館(郡上市八幡町)

水野政雄の世界
紙コップの夢...
サバンナアート展

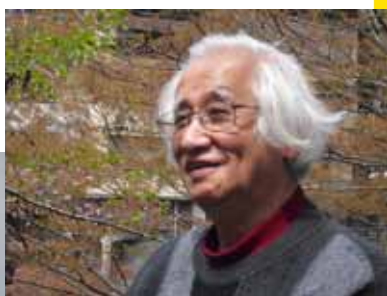
これまでに「森の生木者たちアート展」「生きもの夢工房」「さんしょうおと川の仲間たち」の作品展示を開催しご好評をいただきました。今回は、身近な紙コップを使い、独自の発想とアイデアで、サバンナの動物たちをユニークに創作し、会場いっぱい広がるシオラマの世界は迫力満点です。ぜひ、この機会に『水野ワールド』に触れ、夏休みのひと時をお楽しみください。

8/17(土)～25(日)

可児市文化創造センター 美術ロフト
午前9：30～午後5：00 (入場無料)
*8月18日(日)水野政雄氏のワークショップ開催!!
(ワークショップ開催内容詳細、裏面をご覧ください)
■主催：NPO法人alaクルーズ
■協力：(公財)可児市文化芸術振興財団
(遊童館：郡上市八幡町)

〒500-0203 可児市下宮3423番地1311
可児市文化創造センター内
NPO法人 alaクルーズ事務局
TEL&FAX / (0574)61-3414
在勤日 / 月・水・木 / 曜日10:00～15:00

問合せ先



水野政雄氏

紙工作ワークショップ

～紙にいのちを吹きこむ“もの創り”の楽しさを体験～

参加者募集!!

造形作家：水野政雄先生をお迎えし、身近な紙トレーや紙コップをつかい、インコや動物の顔など動いたり、飛ばしたりして楽しめる“もの創り”のワークショップです。親子で楽しみながら、夏休みの思い出にしてください。特別企画です。

開催日 8月18日(日)

ワークショップ時間

- 1回目 11：00～12：00
- 2回目 13：00～14：00
- 3回目 14：30～15：30

会場：可児市文化創造センター 美術ロフト

対象幼稚園児年長以上(ハサミなどを使いますので、それらが使用できる方)小学生低学年以下の参加者は当日保護者の同伴が可能であること。

定員：1～3回各時間それぞれ15名 参加費 無料

申込方法：住所・参加者及び保護者氏名・年齢・希望する時間・電話番号を必ずご記入の上[はがき]または[ファックス]にてお申し込みください。7月1日より受付開始。先着順とし、それぞれ定員(15名)になり次第締切とします。

主催：NPO法人alaクルーズ

協力：(公財)可児市文化芸術振興財団

：遊童館(郡上市八幡町)



紙工作ワークショップ
～紙にいのちを吹きこむ“もの創り”の楽しさを体験～
参加者募集!!

造形作家：水野政雄先生をお迎えし、身近な紙トレーや紙コップなどを使い、インコや動物の顔など動いたり、飛ばしたりして楽しめる“もの創り”のワークショップです。親子で楽しみながら、夏休みの思い出にしてください。特別企画です。

- 開催日 8月18日(日)開催
- ワークショップ時間 1回目 11：00～12：00
2回目 13：00～14：00
3回目 14：30～15：30
- 会場 可児市文化創造センター(美術ロフト)
- 対象 幼稚園児年長以上(ハサミなどを使いますので、それらが使用できる方)。小学生低学年以下の参加者は、当日保護者の同伴が可能であること。
- 定員 15～3名(各時間)それぞれ15名。
- 参加費 無料
- 申込方法 住所・参加者及び保護者氏名・年齢・希望する時間・電話番号を必ずご記入の上「はがき」または「ファックス」にてお申し込みください。7月1日より受付開始。先着順とし、それぞれ定員(15名)になり次第締切とします。
- 主催 NPO法人alaクルーズ
- 協力 (公財)可児市文化芸術振興財団 (遊童館：郡上市八幡町)

問合せ先

NPO法人 alaクルーズ事務局
TEL&FAX / (0574)61-3414

平成25年度alaクルーズ事業予定



フロントスタッフ研修

講師 星乃もと子氏

平成25年10月5日(土)午前9時30分より

主劇場 小劇場にて研修

《ala Collection 秋の蛸》で実技研修予定



写真は前回の様子



ボランティア講習会

講師 永井美佳氏(予定)

平成26年2月予定



イルミネーション2013

9月制作開始予定



ギャラリー展示 “心にひびくものたち” シリーズ14

木器

平成26年2月24日(月)～3月3日(月)

ワークショップルーム(洋室) 予定

編集後記

今年は5月の中旬頃まで肌寒く、なかなかストーブをしまえなかった我が家ですが、いきなり夏がやってきて大慌てです。田んぼには苗が植えられ、いつの間にか飛んできたアメンボがスイスイ泳いでいます。夜にはゲロゲロと蛙の合唱が始まります。久しぶりに実家に泊まった娘は「夜、蛙の鳴き声がいいねえ。のどかで落ち着くわぁ」と言っていました。そうです、まだまだ可児には田舎の風景が残っています。どんどん自然が失われていく前に五感で味わっておきましょう。将来の子ども達にも昆虫や緑がいっぱい残っていることを祈ってます。(H)



視察研修

まつもと市民・芸術館

平成25年10月予定

まつもと市民芸術館は、客席数750～1800に可変するホール、客席数288の小ホール、360席の実験劇場などを備えた文化施設です。松本の新たな芸術拠点として、さまざまな舞台芸術の鑑賞機会を提供するとともに、市民の活発な芸術文化活動を支援し、多彩な交流、文化の潤いを広げて参ります。サイトウ・キネン・フェスティバル松本が開催される会場でもある



alaクルーズ事務局 TEL/FAX:0574-61-3414

<http://www.kpac.or.jp/alacrews/>

Mail: ala-crews@kpac.or.jp

在勤日 月・水・木・土曜日(10:00～15:00)

